

特集 |

患者を受け入れるための 病床管理の工夫

地域の安心を守る取り組み



社会的にも注目をあつめる医療者不足やそれに伴う過酷な労働環境は、地域住民の安心を守る救急医療の現場にも大きな影響を与えている。そうしたなか、入院が必要な患者の受け入れ体制の整備は、急性期病院をはじめとする諸施設にとって重要な課題となっている。これらの課題を解決する、病床稼働率の向上とスムーズな退院調整を可能にする病床管理(ベッドコントロール)にはどのような工夫が求められているだろうか。

本号では、主に看護部が中心となって取り組む病床管理について、各施設の実践を紹介。その理念やノウハウから、病床管理の望ましいあり方を探りたい。